

1 「やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム設置要領」の変更  
及び「やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラン」の改訂について

【ポイント】

○【設置要領】3各構成員の役割の一部変更

- ・山口労働局の事務分掌変更により、職業安定課から訓練室へ所掌が変更となったことに伴う一部変更。

○地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業一覧（P 1 1 「別表」）の一部改訂

- ・「就職・採用活動オンライン化緊急支援事業」が2020年度限りで終了するとともに、2021年度から「雇用のセーフティネット強化事業（就職氷河期世代活躍支援）」による支援を新たに実施する。



## やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム設置要領

### 1 趣旨

「就職氷河期世代支援に関する行動計画 2019」及び「厚生労働省就職氷河期世代活躍支援プラン」に基づき、山口県内の関係機関や団体を構成員とし、県内の就職氷河期世代の支援に社会全体で取り組む気運を醸成するとともに、活躍支援策のとりまとめ、進捗管理等を統括する「やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」（以下「やまぐちPF」という。）を設置する。

### 2 構成員

やまぐちPFの構成員については、行政機関、経済団体、労働団体等の別紙1の機関を構成員とする。

### 3 各構成員の役割

上記2の構成員の役割は、下記のとおりとする。

#### （1）行政側

- ① 山口労働局（職業安定課訓練室）
  - ・ やまぐちPFとりまとめ事務局（主担当）
  - ・ 事業実施計画の策定とりまとめ、事業の進捗管理（主担当）
  - ・ 管内市町のプラットフォーム（以下「市町PF」という）との連絡調整
  - ・ 各種支援策の周知広報
- ② 山口県（商工労働部労働政策課）
  - ・ やまぐちPFとりまとめ事務局（副担当）
  - ・ 事業実施計画の策定とりまとめ、事業の進捗管理（副担当）
  - ・ 市町PFとの連絡調整
  - ・ 各種支援策の周知広報
- ③ 山口県（健康福祉部健康増進課）
  - ・ 市町PFとの連絡調整
  - ・ 社会参加に向けた支援を必要とする者のニーズの把握
  - ・ 市町PFと連携しての先進的な取組に係る事例の把握と展開
  - ・ 各種支援策の周知広報

- ④ 就労支援機関（ハローワーク、山口しごとセンター）
  - ・ 専門窓口・専門チームによる就職支援
  - ・ 企業説明会・面接会の開催や職場実習・体験機会の確保
  - ・ 企業に対する処遇改善の働きかけ、専門求人の確保
  - ・ 各種支援策の周知広報
  - ・ やまぐちＰＦとりまとめ事務局への政策提案
- ⑤ 中国経済産業局
  - ・ やまぐちＰＦとりまとめ事務局への政策提案
  - ・ 各種支援策の周知広報
- ⑥ 山口県市長会、山口県町村会
  - ・ 各種支援策の周知広報

(2) 経済団体、労働団体等

- ・ 企業に対する、就職氷河期世代を対象とした求人募集、積極的な採用、企業説明会・面接会への参画や職場実習・体験機会の確保の働きかけ
- ・ 企業に対する人材育成の充実や正規雇用化を含む処遇改善の働きかけ
- ・ 就職氷河期世代の就労や社会参加に向けた相談支援
- ・ イベントや会報等での各種支援策等の周知広報
- ・ やまぐちＰＦとりまとめ事務局への政策提案

(3) 支援機関（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構山口支部、山口県社会福祉協議会）

- ・ 公的職業訓練（ハロートレーニング）の充実
- ・ 社会参加に向けた支援を必要とする者への支援の充実
- ・ 各種支援策の周知広報
- ・ やまぐちＰＦとりまとめ事務局への政策提案

4 やまぐちＰＦにおける取組事項

やまぐちＰＦにおいては、次に掲げる事項について協議を行い、各構成員における取組を促進することとする。

(1) 気運醸成と各種支援策の周知広報

就職氷河期世代の支援に社会全体で取り組む気運を醸成し、各界が一体となって、積極的な採用、正規雇用化を含む処遇改善や社会参加への支援に結びつくよ

うな環境整備を図る。

また、就職氷河期世代本人やそのご家族等に対し、各構成員が有する様々なルートを通じて各種支援策の周知広報を図る。

#### (2) 支援対象者の把握

地域ごとに支援の対象となる以下の3種類の者に係る支援ニーズを把握する。

- ① 不安定な就労状態にある者
- ② 長期にわたり無業の状態にある者
- ③ 社会参加に向けた支援を必要とする者(ひきこもりの方や生活困窮の方など)

#### (3) 目標、KPI(重要業績評価指数)の設定及び事業実施計画の策定

- ① 山口県におけるKPIについては、適切なものを検討の上設定する。
- ② KPIを達成するために、事業実施計画を策定する。
- ③ 計画に基づく実施事業の進捗管理を行う。

#### (4) 市町との連携

市町PFの事務局と連絡調整を図り、以下の事項に係る市町PFとの情報共有と広域的課題の対応を行う。

- ・福祉から受け入れ先の開拓、雇用にあたって必要な配慮等、県レベル経済団体への対応依頼
- ・経済団体、他の市町村等とのつながり作りの支援
- ・市町PFの好事例の周知等

### 5 会議の開催

上記4に掲げる事項の協議を行うために、年2回を目安に会議を開催することとするが、この他必要に応じて開催することもできるものとする。

### 6 秘密の保持

PFの構成員及び協議の場に参加した者は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。

(附則)

この要領は、令和2年8月28日から施行する。

令和3年〇月〇日 一部改正。

## やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム構成員

区分	構成員 (機関・団体名)
経済団体	山口県経営者協会
	山口経済同友会
	山口県商工会議所連合会
	山口県商工会連合会
	山口県中小企業団体中央会
労働団体	日本労働組合総連合会 山口県連合会
支援機関	独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 山口支部
	社会福祉法人 山口県社会福祉協議会
市 町	山口県市長会
	山口県町村会
行 政	経済産業省 中国経済産業局 地域経済部 産業人材政策課
	山口労働局
	山口県商工労働部
	山口県健康福祉部

# やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラン

令和2年8月

令和3年〇月(一部改訂)

やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム





## 目次

1. 趣旨	1
2. やまぐち支援プランの計画期間及び進捗管理	2
3. 支援対象者	2
4. 山口県の現状と支援の方向性	3
5. 目標、KPI及び取組	4
(1)不安定な就労状態にある方	4
(2)長期にわたり無業の状態にある方	6
(3)社会参加に向けた支援を必要とする方	8
(4)全支援対象者共通の取組	10
6. やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォームと 市町プラットフォームとの連携	10
7. 地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業の実施	10



## 1. 趣旨

バブル崩壊後の雇用環境が厳しい時期(概ね 1993 年(平成5年)~2004 年(平成 16 年)に就職活動を行った、いわゆる「就職氷河期世代」は、現在、30 代半ばから 40 代後半(令和2年4月1日現在、大卒で概ね 38 歳~49 歳、高卒で概ね 34 歳~45 歳)に至っている。その中には、希望する就職ができず、新卒一括採用をはじめとした流動性に乏しい雇用慣行が続いてきたこともあり、現在も、不本意ながら不安定な仕事に就いている、無業の状態にある、社会参加に向けて支援を必要とする状態にあるなど、様々な課題に直面している方がいる。また、こうした課題に直面している方々の多くは、概して能力開発機会が少なく、企業に評価される職務経歴も積めていない、就職活動の度重なる失敗により自分に自信が持てない、現状維持が精一杯で今後の展望を抱けない、正社員を諦めているなど、就職活動に当たって様々な課題を抱えている。

こうした状況を踏まえ、就職氷河期世代への支援は喫緊の課題であることから、政府は、経済財政運営と改革の基本方針 2019(令和元年6月 21 日閣議決定)において「就職氷河期世代支援プログラム」を定めるとともに、当該プログラムを着実に実行するため、関係府省会議において「就職氷河期世代支援に関する行動計画 2019」(令和元年 12 月 23 日決定。以下「行動計画 2019」という。)が取りまとめられた。

また、厚生労働省においても、厚生労働大臣を本部長とする「2040 年を展望した社会保障・働き方改革本部」において、「厚生労働省就職氷河期世代活躍支援プラン」(令和元年5月 29 日決定。以下「支援プラン」という。)を策定し、就職氷河期世代が抱える固有の課題や今後の人材ニーズを踏まえつつ、個々人の状況に応じた支援により、正規雇用化をはじめとして、同世代の活躍の場を更に広げられるよう、3年間で集中的に取り組むこととされた。

山口県においては、行動計画 2019 及び支援プランに基づき、県内の関係機関(経済団体、労働団体、支援機関、市町、行政)を構成員とし、県内の就職氷河期世代の活躍支援策をとりまとめ、進捗管理等を統括する「やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」(以下「やまぐちPF」という。)を令和2年8月 28 日に設置した。

また、やまぐちPFにおいて「やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラン」(以下「やまぐち支援プラン」という。)を策定し、就職氷河期世代の方々が活躍の場を更に広げるために、県内の社会気運を醸成し、好事例の横展開を図りつつ、各界が一体となって、やまぐち支援プランに基づく各取組を継続的に推進していくこととする。

## 2. やまぐち支援プランの計画期間及び進捗管理

やまぐち支援プランの計画期間は、令和2年8月28日～令和5年3月31日までとする。  
やまぐち支援プランの着実かつ効果的な推進を図るため、個々の取組や進捗状況をやまぐち PF 事務局にて把握するとともに、取組の進捗を踏まえた今後の施策展開の方向性等を協議するため、毎年度やまぐち PF 設置要領の5に規定する会議を開催し、内容を公表する。なお、その進捗状況等を踏まえ、必要に応じて計画内容を見直すこともあり得る。

## 3. 支援対象者

やまぐち支援プランにおいては、次の①～③に掲げる方々を支援対象者とする。支援に当たっては、就労を希望される方には正社員化及び正社員就職の実現を目指すものであるが、個々人の希望や意欲・能力に応じた雇用形態や待遇の実現及び社会参加へ向けた支援が図られることや、①～③の類型にかかわらず各支援機関が連携して取り組むことが重要である点に留意する必要がある。

### ①不安定な就労状態にある方

- ・正規雇用を希望しながら非正規雇用で働いている方
- ・前職が非正規雇用で、正規雇用を希望する失業中の方など

### ②長期にわたり無業の状態にある方

- ・無業で家事も通学もしていない方のうち、就職などに向けた取組への意欲が認められる方など

### ③社会参加に向けた支援を必要とする方(ひきこもりの方や生活困窮の方など)

- ・ひきこもりの状態にある方、生活困窮に陥っている方など、就労支援だけでなく、保健医療や福祉的な支援を必要としている方

#### 4. 山口県の現状と支援の方向性

総務省の「就業構造基本統計調査(2017年)」を基にした推計<sup>1</sup>によると、山口県内における支援対象者の現状については、①不安定な就労状態にある方 3,700人、②長期にわたり無業の状態にある方 3,399人と推計している。③社会参加に向けた支援を必要とする方については、支援対象者個人ごとに抱える事情や状態が異なり、必ずしもただちに就労に向かうことが本人にとって望ましいとは限らず、就労支援の対象として数量的にとらえることにそもそもなじまないことから推計対象としていないが、今後、やまぐち支援プランの期間内で支援対象者のニーズを明らかにしていくこととする。

これらの方々の当面の目標は、働くことや社会参加など多様であり、また生活の基盤を置く地域の実情も多様であることから、個々人の状況に応じた支援メニューを積極的に届けていかなければならない。そのためには、当事者やその家族の置かれている状況やニーズをしっかりと受け止めるという姿勢を社会全体に浸透させるよう取り組んでいくことが不可欠である。

支援対象者である「不安定な就労状態にある方」、「長期にわたり無業の状態にある方」、「社会参加に向けた支援を必要とする方(ひきこもりの方や生活困窮の方など)」は明確に区分できない場合も想定され、その状態も時とともに変化していくものであることから、当事者とその家族を中心とした柔軟な支援を行うためには、関係機関が連携して、多様で複合的な課題やニーズに対応する必要がある。

これらを踏まえ、就労や処遇の改善、社会参加を促す中で、必要な人に必要な支援が届く体制を構築することなどに、やまぐちPFのみならず、他の関係機関とも連携して取り組んでいくこととする。

---

<sup>1</sup> 資料出所：総務省「就業構造基本統計調査(2017年)」

JILPT「若年者の就業状況・キャリア・職業能力開発の現状③」

・「不安定な就労状態にある方」：現在非正規雇用で働いており「現職の雇用形態についている理由」について「主に正規の職員・従業員の仕事がないから」と答えた者

・「長期にわたり無業の状態にある方」：無業者のうち求職活動をしていない者で、卒業者かつ通学していず、配偶者なしで家事を行っていない者。就業構造基本統計調査の公表値ではないため、JILPTが特別集計したデータを利用している。

## 5. 目標、KPI<sup>2</sup>及び取組

### (1) 不安定な就労状態にある方

#### 【目標】

正規雇用を希望していながら不安定な就労状態にある方について現状よりも良い処遇を目指すため、支援対象者の正規雇用者数を 2,040 人<sup>3</sup>増やすことを目標とする。

#### 【KPI】

項目	KPI
ハローワーク紹介による正社員就職件数	1,800 件
キャリアアップ助成金活用による正社員転換数	700 人
山口しごとセンター利用者における就職決定数	514 人

#### 【取組】

##### (相談体制の充実)

ハローワーク宇部に「キャリアアップ応援コーナー(就職氷河期世代専門窓口)」を設置し、専門担当者で構成するチームによる個別支援によるマッチングの促進及び職場定着を図る。

##### 【山口労働局】

専用窓口を設置しないハローワーク相談窓口にて、相談者が就職氷河期世代対象者であるか判断を行い、対象者に関しては助成金をはじめとする積極的な支援に対応できる体制を組み、多様なニーズにあわせた就職支援を行う。

##### 【山口労働局】

国と県の業務を一体的に実施する「山口しごとセンター」において、専任のキャリアカウンセラーによるキャリアカウンセリングから就職支援サイト等による情報提供、職業紹介、就職後のフォローアップまでのサービスをワンストップで提供する。

##### 【山口労働局、山口県】

---

<sup>2</sup> KPI： 重要業績評価指標 (Key Performance Indicator) の略。目標の進捗を把握するための指標。

<sup>3</sup> 2,040 人： 総務省「就業構造基本統計調査 (2017 年)」等より  
「不安定な就労状態にある方」山口県 3,700 人 / 全国 541,700 人 × 100 ÷ 0.68%  
30 万人 (国の目標) × 0.68% = 2,040 人 (山口県の 3 年間の目標)

(職業訓練の実施・強化、スキルアップ支援)

「就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業」の支援対象者個々人のニーズに応じた情報提供、アドバイス及びあっせんを行う。

【山口労働局】

離職者、求職者、在職者それぞれのニーズに対応し、安定就労に有効な職業能力等の習得を目指す公的職業訓練(ハロートレーニング)の実施等によるスキルアップや新たなキャリアへの挑戦を支援する。

なお、訓練コース等の設定に当たっては、正社員就職のために資する内容とするよう配慮する。

【山口労働局、山口県、独立行政法人高齢・障害・求職者支援機構】

(就職、正社員への転換支援)

支援対象者に対するマッチングイベント(企業の説明会、就職面接会、職場体験、職場見学、セミナー等)を開催(後援・共催を含む)する。

【山口労働局、山口県、中国経済産業局】

特定求職者雇用開発助成金(就職氷河期世代安定雇用実現コース)、キャリアアップ助成金等の企業支援策周知に努め、その活用による就職氷河期世代の正社員就職及び正社員転換を促進する。

【山口労働局】

就職氷河期世代を対象とした求人募集、正社員化を含む処遇改善、職場定着支援など受入体制整備(職場体験・実習等の機会確保を含む)、マッチングイベント等への取組について、業界団体や企業等へ要請する。

【山口労働局、山口県】

企業における就職氷河期世代を対象とした求人募集、正社員化を含む処遇改善、職場定着支援など受入体制整備(職場体験・実習等の機会確保を含む)等への取組を促進する。また、取組に必要な施策の提案を行う。

【山口県経営者協会、山口経済同友会、山口県商工会議所連合会、山口県商工会連合会、山口県中小企業団体中央会】

就職氷河期世代を対象とした正社員化を含む処遇改善等に係る働きかけを行う。

【日本労働組合総連合会山口県連合会】

## (2) 長期にわたり無業の状態にある方

### 【目標】

就業を希望しながら、様々な事情により求職活動をしていない長期無業の状態にある方については、働くことや社会参加を促す中で本人に合った形で支援を行う必要があることから、地域若者サポートステーション(以下「サポステ」という。)を中心とし関係機関と連携した職業的自立支援につなげることを目標とする。

### 【KPI】

項目	KPI
サポステにより実施した相談件数(福祉機関等への出張相談や関係機関からの依頼を受けての相談を含む)	4,500 件
サポステの支援により就職等 <sup>4</sup> につながった件数	546 件
サポステと地域の関係機関との連携体制の強化	市町 PF 等への参画

### 【取組】

#### (相談体制の充実)

サポステの支援対象年齢を 39 歳までから 49 歳までに拡大するなど相談体制を整備する。

また、福祉関係機関等への出張相談において支援対象者を把握するとともに、支援対象者個々人の状況に対応したきめ細かな職業的自立支援につなげる。

【山口労働局、山口県】

#### (就労に向けた支援)

支援対象者に対するカウンセリングや職場体験、各種セミナーの開催等により、職業意識やコミュニケーション能力の向上を図る。

【山口労働局、山口県】

長期にわたり無業の状態にある方に係る就職等支援など、受入体制整備(職場体験・実習等の機会確保を含む)等への取組について、業界団体や企業等へ要請を行う。

【山口労働局、山口県】

---

<sup>4</sup> 就職等： 「雇用保険被保険者資格を取得し得る就職」、「雇用保険被保険者資格が取得できない就職だが、資格を取得し得る就職に向けてサポステの支援が継続される就職」及び「公的職業訓練の受講」を指す。



長期にわたり無業の状態にある方に係る就職等支援など、企業における受入体制整備(職場体験・実習等の機会確保を含む)等の取組を推進する。また、それらの取組に必要な施策をやまぐち PF に提案する。

【山口県経営者協会、山口経済同友会、山口県商工会議所連合会、山口県商工会連合会、山口県中小企業団体中央会】

働き方改革やワーク・ライフ・バランスの普及啓発等を通じ、多様な働き方の推進を図る。

【山口労働局、山口県】

(3) 社会参加に向けた支援を必要とする方(ひきこもりの方や生活困窮の方など)

【目標】

当事者やその家族の希望に応じ、市町における居場所の整備、その他対象者の状態に合わせた支援を行うための多様な取組を推進し、社会とのより太いつながりが生まれることを目標とする。

【KPI】

項 目	KPI
就労準備支援事業実施福祉事務所	15 福祉事務所
ひきこもりの方等の相談窓口の整備	19 市町

【取組】

(ニーズの把握)

相談内容の分析などにより、社会参加に向けた支援を必要とする方のニーズを把握する。

【山口県、山口県社会福祉協議会】

(相談支援体制の充実)

社会参加に向けた支援を必要とする方やその家族が、お住まいの地域で容易に相談できる環境を整備するために、市町での相談窓口を明確化した上で、広報等により住民への周知を図る。

【山口県、山口県社会福祉協議会】

ひきこもり地域支援センターが、市町の窓口や関係機関に対する専門的なアドバイスをを行うとともに、ひきこもり状態にある方やその家族への取組を支援する。

【山口県】

各市町福祉事務所が実施する生活困窮者就労準備支援事業の取組に関する助言、情報提供を行う。

【山口県】

(相談支援に係る人材の育成、資質向上)

自立相談支援機関の相談支援員の資質向上のための養成研修やひきこもり地域支援センターによる支援者向けの研修会などにより、支援に係る人材の育成、資質の向上を図る。

【山口県、山口県社会福祉協議会】

(職場体験・見学、就労に向けた支援)

社会参加に向けた支援を必要とする方に係る職場体験や職場実習等の機会確保及び受入れ後の職場定着支援などの受入体制整備について、業界団体や企業等へ要請を行う。

【山口労働局、山口県】

社会参加に向けた支援を必要とする方に係る職場体験や職場実習等の機会確保及び受入れ後の職場定着支援などの受入体制整備に係る取組を推進する。また、それらの取組に必要な施策をやまぐち PF に提案する。

【山口県経営者協会、山口経済同友会、山口県商工会議所連合会、山口県商工会連合会、山口県中小企業団体中央会】

社会参加に向けた支援を必要とする方に係る受入体制整備(職場体験・実習等の機会確保を含む)等への取組について働きかけを行う。

【日本労働組合連合会山口県連合会】

#### (4) 全支援対象者共通の取組

##### 【KPI】

項 目	KPI
県内全市町での市町 PF の設置	19 市町

##### 【取組】

市町レベルのプラットフォーム(以下「市町 PF」という。)を形成し、支援に係る関係者間の情報共有を行う。また、市町 PF の活動活性化のため、好事例の横展開などの積極的な協力を行う。

【山口労働局、山口県】

やまぐち PF の取組や活動等について、市町や各団体の構成企業・団体等に積極的に周知・啓発を行うことにより、社会全体で就職氷河期世代の活躍を支援する気運の醸成を図る。

【全構成員】

支援対象者一人ひとりに各種施策や社会全体で支援するというメッセージを積極的に届けるため、あらゆる手段(メディア、SNS、WEB、イベント開催等)を活用し、家族、関係者も含め効果的に伝わる周知・広報策を展開する。

【全構成員】

#### 6. やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォームと市町プラットフォームとの連携

やまぐちPFは、市町PFの効果的かつ円滑な運営のために、市町PFからの支援要請に対して適切に対応するとともに、好事例等の就職氷河期世代支援に関する情報についてはこれを共有し、双方緊密な連携を図ることとする。

#### 7. 地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業の実施【別表】

【別表】

地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業一覧

実施主体	事業名
山口県	山口しごとセンター管理運営費
山口県	地域若者サポートステーション機能強化事業
山口県	就職・採用活動オンライン化緊急支援事業
山口県	雇用のセーフティネット強化事業(就職氷河期世代活躍支援)
下関市	就職氷河期世代等支援事業
宇部市	就職氷河期世代キャリアアップ支援事業



## 2 2020年度やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム KPI進捗状況結果報告について

### 【ポイント】

○多くの項目で3年間KPI達成率が30%を超えており、順調に事業が進んでいる。

○「サポステの支援により就職等※につながった件数」については、3年間KPI達成率が17.2%と低調な進捗状況となっている。

(※「就職等」には、「雇用保険被保険者資格を取得し得る就職」、「雇用保険被保険者資格が取得できない就職だが、資格を取得し得る就職に向けてサポステの支援が継続される就職」及び「公的職業訓練の受講」を指す。)

#### ◎就職等件数が低調な理由（サポステより）

・長期的な支援を必要とする者（循環的に利用する者）の増加や求人条件の低下による求職条件とのミスマッチが発生している。

#### ◎就職等件数増加に向けての支援強化

・「きめ細やかな相談支援」として、包括的且つ個々にあった支援プランの作成と信頼関係構築、自尊感情、自己効力感などに着目した就職意欲の喚起の強化。

・事業所との関係強化のため訪問や電話による定期的な連絡の徹底を図り、求人確保に努める。

・職場見学・体験によるミスマッチ防止に努めるとともに、資格取得の情報提供を強化し、就職可能性の拡大を図る。



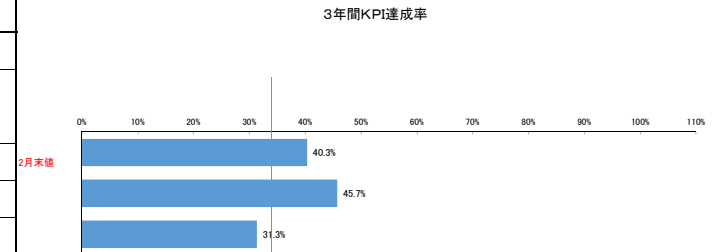


## やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム KPI進捗管理表

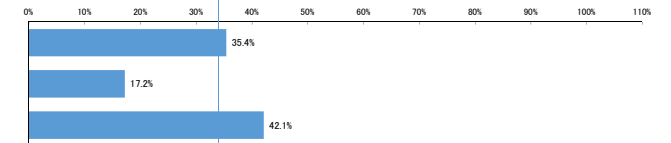
## ※2020年度実績

①不安定な就労状態にある方	目標	KPI					
	正規雇用者数を2,040人増	項目	3年間KPI	3年間KPI達成率	実績		
					2020年度	2021年度	2022年度
	●ハローワーク紹介による正社員就職件数	1,800 件	40.3%	726 件	件	件	
	●キャリアアップ助成金活用による正社員転換数	700 人	45.7%	320 人	人	人	
	●山口しごとセンター利用者における就職決定数	514 人	31.3%	161 人	人	人	

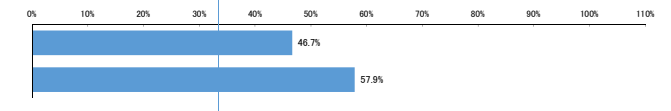
※山口しごとセンター利用者における就職決定数は正規雇用者の数。



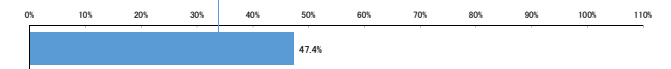
②長年にわたり無業の状態にある方	目標	KPI					
	地域若者サポートステーションを中心に関係機関と連携した職業的自立支援につなげる	項目	3年間KPI	3年間KPI達成率	実績		
					2020年度	2021年度	2022年度
	●サポステによる相談件数	4,500 件	35.4%	1,593 件	件	件	
	●サポステの支援により就職等につながった件数	546 件	17.2%	94 件	件	件	
	●サポステと地域の関係機関との連携体制の強化	19 市町	42.1%	8 市町	市町	市町	



③社会参加に向けた支援を必要とする方 (ひきこもりの方や生活困窮の方など)	目標	KPI					
	市町に居場所の整備、対象者の状態に合わせた支援を行うための多様な取組を推進し、社会とのより太いつながりをつくる	項目	3年間KPI	3年間KPI達成率	実績		
					2020年度	2021年度	2022年度
	●就労準備支援事業実施福祉事務所	15 箇所	46.7%	7 箇所	箇所	箇所	
	●ひきこもりの方等の相談窓口の整備	19 市町	57.9%	11 市町	市町	市町	



④全支援対象者共通	目標	KPI					
	就職氷河期世代の活躍を支援する気運の醸成を図る	項目	3年間KPI	3年間KPI達成率	実績		
					2020年度	2021年度	2022年度
	●県内全市町での市町PFの設置	19 市町	47.4%	9 市町	市町	市町	





3 「就職氷河期世代活躍支援都道府県プラットフォームを活用した支援」  
事業について（山口労働局委託事業）

【ポイント】

○2020年度事業結果

- ・「ぽかぽか未来相談MAP」を作成し県内に配布し、周知・広報を実施した。

○2021年度事業計画

- ・就職氷河期世代活躍支援プラットフォームの専用ホームページを立ち上げ、就労支援の好事例や職場実習の企業レポートを掲載することで、本事業を広く周知・広報し、求職者の就労意欲の向上や企業の雇い入れを促す。



## 「就職氷河期世代活躍支援都道府県プラットフォームを活用した支援」事業

2020年度事業		
分類	実施計画	実施結果
●周知・広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「就労支援」「ひきこもり支援」「自立支援」に関する相談窓口を整理し、「ほかほか未来相談MAP」としてリーフレットを作成。県内全戸配布を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ほかほか未来相談MAP」作成</li> <li>・「ほっぷ」にて約40万戸にMAPを折り込み</li> <li>・「ほっぷ」で配布できないエリア(萩・長門・柳井エリア)は新聞にて折り込み</li> <li>・読売新聞にて広告を掲載</li> </ul>
●受入企業開拓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職氷河期世代に対する職場実習受入企業を開拓し、リスト化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・51件リスト化済</li> </ul>

2021年度事業		
分類	実施計画	実施結果
●求職者説明会・面接会等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職氷河期世代専門窓口を持たないハローワークにおいて、求職者向け説明会を行う。</li> <li>・県内で開催される就職面接会等に、専門相談員を配置した就職氷河期専用ブースを設置する。</li> </ul>	
●周知・広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職氷河期世代活躍支援プラットフォームの専用サイト(HP)を立ち上げ、就労支援に関する好事例などの情報を広く提供する。</li> <li>・職場実習受入企業リストを掲載するとともに、実施された職場実習の企業レポートを掲載する。</li> </ul>	
●受入企業開拓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職氷河期世代に対する職場実習受入企業を開拓し、リスト化する。</li> </ul>	



#### 4 地域就職氷河期世代支援加速化交付金を活用した事業について (実施主体：山口県、下関市、宇部市)

##### 【ポイント】

##### ○2020年度事業結果

###### 《山口県》

- ・山口しごとセンターに就職氷河期世代専任カウンセラーを配置し、相談者個々の状況に応じた支援を実施した。
- ・地域若者サポートステーションと連携して、臨床心理士等による相談支援及びコミュニケーションセミナー等を実施した。
- ・WEB対面型キャリアカウンセリングシステムによるカウンセリングを開始した。

###### 《下関市》

- ・就職氷河期世代の積極的な活用を促す企業向けセミナー、就職氷河期世代を対象にした企業合同就職説明会等を開催した。

###### 《宇部市》

- ・正社員として必要な基礎知識やスキルの習得、自己分析等を通して就職を目指す「UBE キャリアアッププログラム」を実施した。

##### ○2021年度事業計画

###### 《山口県》

- 2020年度の取組に加えて、以下の取組を実施する予定。
- ・長期にわたり無業の状態にある方等を対象としたオンラインセミナーの開催等により、求職者の職業意識やコミュニケーション能力の向上を図る。
  - ・企業を対象としたオンラインセミナーの開催により、雇用の受入先開拓を図る。





## 地域就職氷河期世代支援加速化交付金を活用した事業

2020年度事業		
事業名（実施主体）	事業計画	実施結果
●山口しごとセンター管理運営費（山口県）	・求人条件の低下就職氷河期世代専任カウンセラーの配置及び専用窓口の設置により、対象世代の方の来所・相談を促し、個々の状況に応じたきめ細かな支援を実施する。	・就職活動の進め方や、希望企業へのアプローチの仕方、職務経歴書・履歴書・添え状等の作成方法・添削、面接における留意点のアドバイス等を実施することで、就職氷河期世代の県内就職を促進した。
●地域若者サポートステーション機能強化事業（山口県）	・地域若者サポートステーションと連携し、就職に向けて心理的な悩みを持つ無業者に対して、臨床心理士等の専門家によるきめ細かな相談支援を実施するほか、セミナー等の実施により、コミュニケーション能力等の向上を図る。	・就職氷河期世代へのきめ細かな支援を行うため、年間の心理カウンセリング回数及びセミナー回数を前年度より増やし、相談者の実情に応じて個別的かつ継続的な支援を実施した。
●就職・採用活動オンライン化緊急支援事業（山口県） ※2020年度限りの単年度事業	・WEB対面型キャリアカウンセリングシステムの導入により、不安定就労の方一人一人の状況に応じたキャリアカウンセリングを実施するほか、就職支援サイトの機能強化により、正規雇用化と県内就職を促進する。	・WEB対面型キャリアカウンセリングシステムを整備し、令和2年8月1日から同システムを使用したカウンセリングを開始した。 また、就職支援サイト(山口しごとセンターホームページ)を改修し、令和3年3月31日に公開した。
●就職氷河期世代等支援事業（下関市）	・就職氷河期世代の積極的な活用を促す企業向けセミナーの実施により企業参加を募り、市内中小企業の参加による合同就職説明会を実施する。	・以下のセミナー及び合同就職説明会を開催した。 ・NEWノーマル時代を生き抜く人事戦略セミナー～就職氷河期世代等の人材活用術～（企業向け、10月27日） ・就勝支援セミナー～自分を知って就活に勝つ！～（求職者向け、11月7日、13日、20日、21日） ・しものせき就勝フェス2020（11月27日、28日）等
●就職氷河期世代キャリアアップ支援事業（宇部市）	・正規雇用化に向け必要となる知識や技能の習得などの能力開発及び正社員採用に積極的な企業や未経験者の採用を行う企業、就職世代の採用に前向きな企業等との座談会・ガイダンスを実施する。	・正規雇用を希望する就職氷河期世代の求職者等を対象に「UBEキャリアアッププログラム」を実施した。（スキルアップ研修、企業見学会、就職活動支援等）

2021年度事業		
事業名（実施主体）	事業計画	実施結果
●山口しごとセンター管理運営費（山口県）	・就職氷河期世代専任カウンセラーの配置及び専用窓口の設置により、対象世代の方の来所・相談を促し、個々の状況に応じたきめ細かな支援を実施する。	
●地域若者サポートステーション機能強化事業（山口県）	・地域若者サポートステーションと連携し、就職に向けて心理的な悩みを持つ無業者に対して、臨床心理士等の専門家によるきめ細かな相談支援を実施し、コミュニケーション能力等の向上を図る。	
●雇用のセーフティネット強化事業(就職氷河期世代活躍支援)（山口県） ※2021年度からの新規事業	・長期にわたり無業の状態にある方等を対象にオンライン形式のセミナーを開催することで、職業意識やコミュニケーション能力の向上を図るとともに、利用者一人一人のニーズに応じた個別相談を実施する。 また、企業採用担当者向けセミナーの開催により、雇用の受入れ先開拓を図る。	
●就職氷河期世代等支援事業（下関市）	・就職氷河期世代の積極的な活用を促す企業向けセミナーの実施により企業参加を募り、市内中小企業の参加による合同就職説明会を実施する。	
●就職氷河期世代キャリアアップ支援事業（宇部市）	・正規雇用化に向け必要となる知識や技能の習得などの能力開発及び正社員採用に積極的な企業や未経験者の採用を行う企業、就職世代の採用に前向きな企業等との座談会・ガイダンスを実施する。	



**参考資料**

**就職氷河期世代の求職状況（2021年3月末現在）**



## 就職氷河期世代の求職状況（2021年3月末現在）

### 1 年齢別求職者数

(人)

	山口所	下関所	宇部所	防府所	萩所	徳山所	下松所	岩国所	柳井所	計
35歳～39歳	52	70	79	31	17	76	18	25	18	386
40歳～44歳	30	55	76	26	12	80	32	33	14	358
45歳～49歳	15	57	79	4	9	83	36	43	8	334
50歳～54歳	6	35	54	3	2	75	24	25	7	231
計	103	217	288	64	40	314	110	126	47	1,309

### 2 希望職種別求職者数

(人)

	山口所	下関所	宇部所	防府所	萩所	徳山所	下松所	岩国所	柳井所	計
A 管理的職業	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2
B 専門的・技術的職業	9	27	37	6	2	53	10	13	4	161
C 事務的職業	37	82	93	20	12	86	32	47	8	417
D 販売の職業	5	18	12	2	2	22	8	3	4	76
E サービスの職業	8	16	30	6	5	27	4	9	6	111
F 保安の職業	0	4	0	0	0	1	0	2	0	7
G 農林漁業の職業	2	3	2	0	0	0	0	0	0	7
H 生産工程の職業	11	29	32	5	9	19	6	14	4	129
I 輸送・機械運転の職業	4	3	14	2	1	8	4	3	1	40
J 建設・採掘の職業	1	3	5	2	0	16	1	2	0	30
K 運搬・清掃の職業	16	17	32	5	4	28	12	12	14	140
分類不能の職業	10	14	31	16	5	53	33	21	6	189
計	103	217	288	64	40	314	110	126	47	1,309

### 3 経験職種別求職者数

(人)

	山口所	下関所	宇部所	防府所	萩所	徳山所	下松所	岩国所	柳井所	計
A 管理的職業	0	1	0	0	0	2	1	0	0	4
B 専門的・技術的職業	6	16	24	2	2	52	9	12	2	125
C 事務的職業	27	79	89	12	11	55	24	28	6	331
D 販売の職業	9	14	28	5	6	30	5	5	6	108
E サービスの職業	4	28	38	8	3	43	13	12	0	149
F 保安の職業	0	1	1	0	0	1	0	2	0	5
G 農林漁業の職業	0	1	1	0	2	1	0	0	0	5
H 生産工程の職業	8	30	32	11	6	38	8	10	5	148
I 輸送・機械運転の職業	0	1	9	3	0	8	2	2	1	26
J 建設・採掘の職業	0	3	3	1	0	17	0	1	0	25
K 運搬・清掃の職業	18	25	19	9	1	18	9	12	7	118
分類不能の職業	31	18	44	13	9	49	39	42	20	265
計	103	217	288	64	40	314	110	126	47	1,309

## 求職者の希望職種と経験職種の比較

(人)

—●— 希望職種    —■— 経験職種

